

本社 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-15 (神楽坂1丁目ビル)  
TEL 03-3235-5411 FAX 03-3235-1315

技術研究所 〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-17-25  
TEL 048-845-7661 FAX 048-845-7673

東北支店 〒984-0014 宮城県仙台市若林区六丁の目元町13-21  
TEL 022-390-4661 FAX 022-390-4662

関東支店 〒334-0073 埼玉県川口市赤井2-15-19  
TEL 048-229-0591 FAX 048-229-0592

中部支店 〒493-8003 愛知県一宮市北方町中島字東松本16-1  
TEL 0586-86-4161 FAX 0586-86-4163

関西支店 〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜1-1-5  
TEL 0798-22-6321 FAX 0798-22-6525

中国支店 〒731-5106 広島県広島市佐伯区利松3-25-34  
TEL 082-928-2525 FAX 082-926-2050

九州支店 〒842-0031 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田2338-10  
TEL 0952-53-2861 FAX 0952-20-0735

札幌営業所 〒065-0028 北海道札幌市東区北28条東18-5-15  
TEL 011-780-4031 FAX 011-780-4032

東北営業所 〒023-1101 岩手県奥州市江刺区岩谷堂字松長根15-10  
TEL 0197-35-7611 FAX 0197-35-7613

仙台営業所 〒984-0014 宮城県仙台市若林区六丁の目元町13-21  
TEL 022-390-4661 FAX 022-390-4662

関東製販営業所 〒334-0073 埼玉県川口市赤井2-15-19  
TEL 048-229-0591 FAX 048-229-0592

東京営業所 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-15 (神楽坂1丁目ビル)  
TEL 03-3235-1131 FAX 03-3266-8066

東京第2営業所 〒334-0073 埼玉県川口市赤井2-3-8  
TEL 048-452-8481 FAX 048-281-1934

北関東営業所 〒308-0825 茨城県筑西市下中山599-6  
TEL 0296-22-4538 FAX 0296-22-4539

北陸営業所 〒950-0983 新潟県新潟市中央区神道寺1-1-16-302  
TEL 025-250-5815 FAX 025-250-5816

西関東営業所 〒194-0005 東京都町田市南町田3-35-55  
TEL 042-850-5440 FAX 042-850-5441

東関東営業所 〒266-0005 千葉県千葉市緑区誉田町1-395-23  
TEL 043-293-3431 FAX 043-293-3432

静岡営業所 〒422-8027 静岡県静岡市駿河区豊田3-2-17  
TEL 054-201-9093 FAX 054-201-9094

名古屋営業所 〒493-8003 愛知県一宮市北方町中島字東松本16-1  
TEL 0586-86-4161 FAX 0586-86-4163

大阪営業所 〒531-0073 大阪府大阪市北区本庄西3-5-17  
TEL 06-6361-1601 FAX 06-6361-3505

神戸営業所 〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜1-1-5  
TEL 0798-22-6321 FAX 0798-22-6525

岡山営業所 〒706-0014 岡山県玉野市玉原3-11-1  
TEL 0863-32-5811 FAX 0863-32-5814

広島営業所 〒731-5106 広島県広島市佐伯区利松3-25-34  
TEL 082-928-2525 FAX 082-926-2050

四国営業所 〒761-8071 香川県高松市伏石町2045-11  
TEL 087-813-6061 FAX 087-813-6062

九州営業所 〒842-0031 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田2338-10  
TEL 0952-53-2861 FAX 0952-20-0735

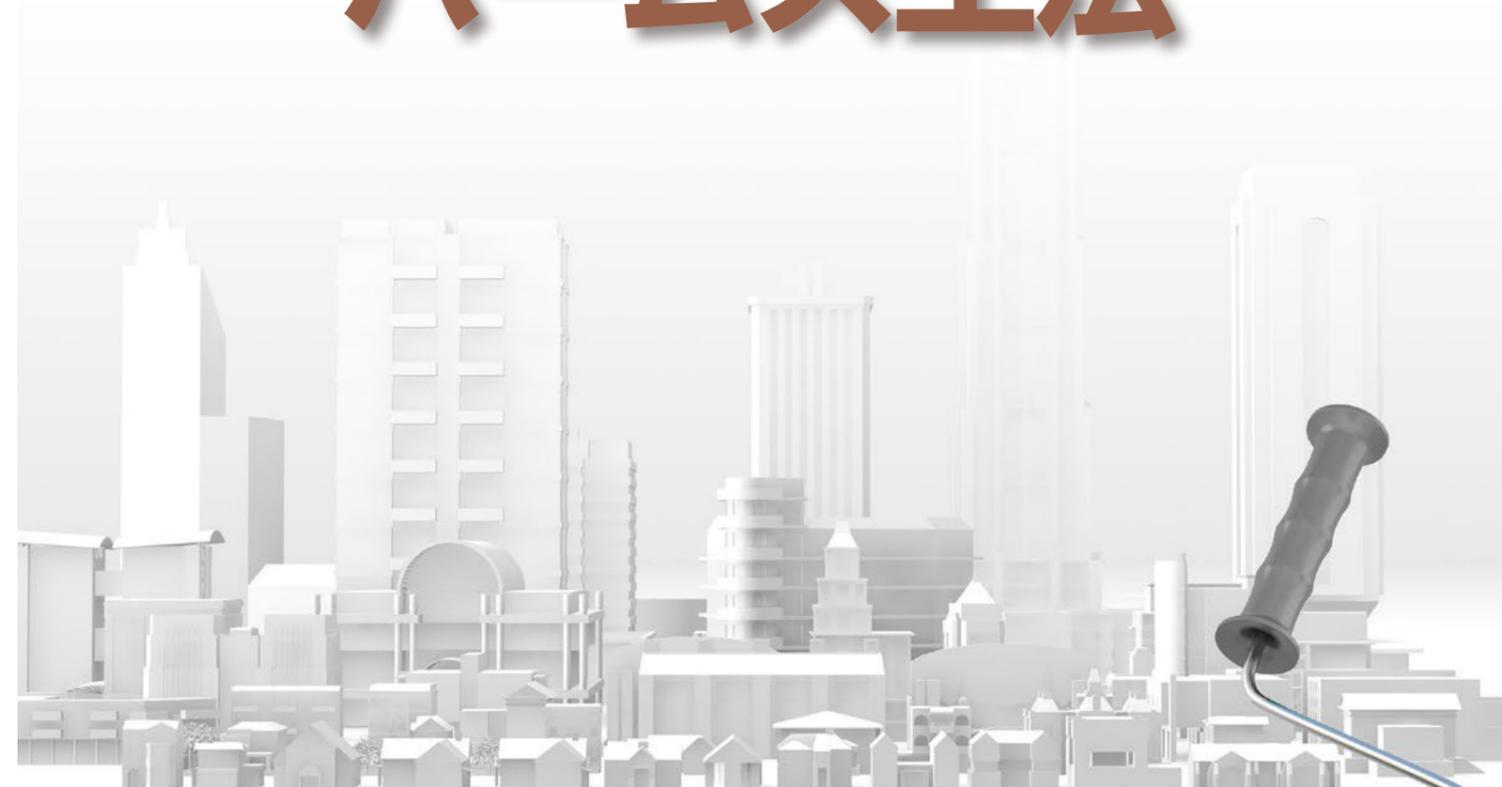
佐賀営業所 〒842-0031 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田2338-10  
TEL 0952-53-2861 FAX 0952-20-0735

鹿児島営業所 〒899-4314 鹿児島県霧島市国分川内1988-1  
TEL 0995-48-6560 FAX 0995-45-9759

●業務提携先・取扱店



# パーマス工法



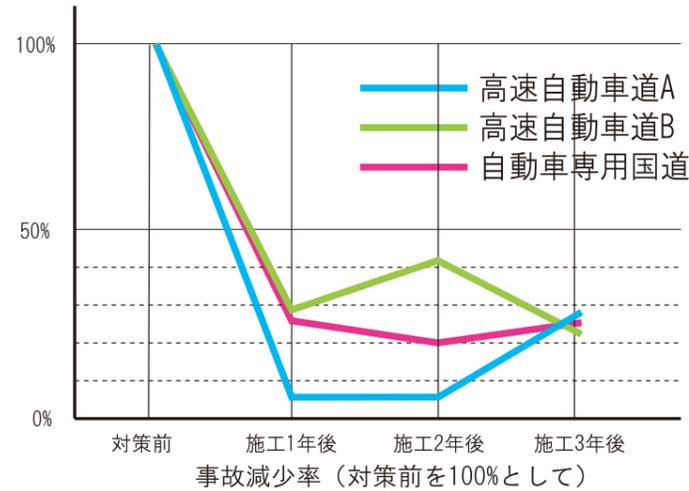
# パームス工法

## 雨天時のスリップ事故対策に効果を発揮します。

### 特徴

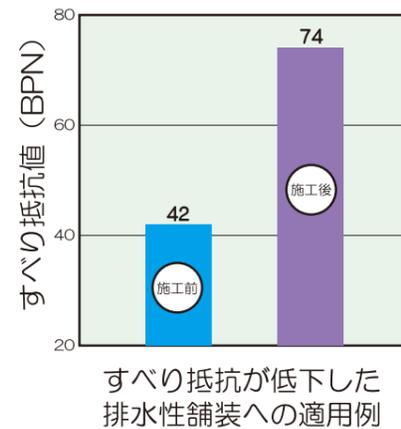
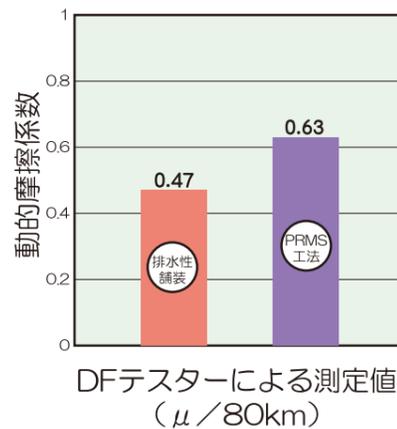
■ PRMS 工法施工後大幅な事故削減効果の実績があります

3年後の事故減少率が3現場ともに約80%減少という結果でした。PRMS 工法を施工することによりスリップ事故対策としての効果が期待できます。



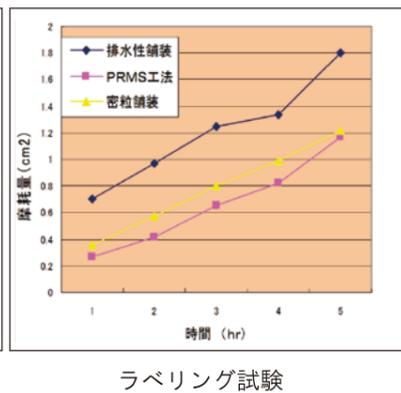
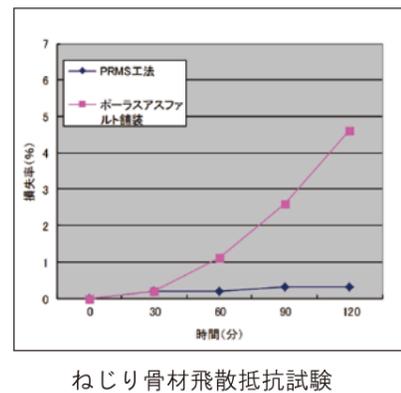
■ すべり抵抗が低下した排水性舗装への適用例

細かな骨材がポーラスアスファルト舗装の間に敷設されるため、走行タイヤの設置面積が増え、すべり抵抗が向上します。また、摩擦などによりすべり抵抗が低下した路面に本工法を適用することによりすべり抵抗の改善が期待できます。



■ 排水性舗装の表面強化、耐久性向上

ねじり骨材飛散試験の結果、120分後の損失率がポーラスアスファルト舗装が4.6%であったのに対しPRMS 工法は0.3%という結果でした。ラベリング試験においてはPRMS 工法の摩耗量は、密粒度アスファルト混合物(13)とほぼ同程度でした。



パームス工法とは

排水性舗装の空隙にセラミック骨材を用いた樹脂モルタルを充填して、舗装表面を保護します。排水性舗装の透水性は残ります。

## 施工プロセス

1. プライマー塗布



2. 樹脂混合



3. 合材混合



4. 合材敷均し



5. 振動充填



6. 完成



## 施工例

